

7月16日 特別養護老人ホームみやもり荘で誕生会

## 宮守町の多田キミさん100歳

多田キミさんの誕生会が同所で行われ、本町市長が花束と記念品を贈呈すると、キミさんは、「ありがとうございます」とほほ笑みました。キミさんは、大正4年に宮守町



本町市長から祝福を受け笑顔を見せるキミさん

生まれ、32歳で政二さん(故人)と結婚。農業などに励み3男2女を育て上げました。現在は、同所で穏やかに過ごしています。

7月24日 誘致企業の懶オサダ岩手事業所が工場を新築

## 工場2棟を増設し雇用拡大

青笹町に事業所のある誘致企業の懶オサダ(長田豊代表取締役社長)は、新たに金型工場とプレス工場の2棟を新築し、その完成披露会を開きました。市関係者や地元住民



新築された工場を見学する関係者ら

らが出席。最新の金属加工機械などを見学し、事業拡大を祝いました。

工場の増設に伴い、新たに12人の雇用が生まれています。

7月26日 柏木平特設会場で夏の合同イベント

## 夏満喫！ 家族連れで大にぎわい



「柏木平リバーサイドまつり」「全国やぶさめ競技第9回遠野大会」「遠野わらすっこまつり」(同実行委主催)が開催され、家族連れなど5,500人で会場はにぎわいました。

当日は、ステージイベント、魚つかみ取り体験、各種レクリエーション、伝承遊び、乗馬体験、重機運転体験など盛りだくさんの内容。やぶさめ競技には市内外から36人が出場し、勇猛果敢な姿に観客から声援が送られていました。

1\_レクリエーションコーナーを楽しむ家族 2\_ 遠野カッパ工事隊による重機運転体験は大盛況 3\_ バルーンアートショーでは、華麗な手さばきに歓声が 4\_ やぶさめ競技では、人馬一体の妙技が披露されました

7月7日 青笹町の門前おくでらブルーベリー農園で収穫

## 青笹保育園の園児が収穫体験

青笹保育園の年中組の16人は、同農園(奥寺啓蔵代表)で収穫体験を行いました。奥寺代表が同農園の栽培10年を記念して、収穫体験を企画。園児たちは、摘み取っては口に頬張り、ブルーベリーの甘酸っぱさを味わっていました。菊池萌歌ちゃん(5)は「甘くてとってもおいしい」と声を弾ませていました。



カップいっぱいブルーベリーを摘み取る園児たち

7月18日 「希望郷いわて国体・いわて大会」PR 駅伝

## 国体成功を願いタスキでつなぐ

「希望郷いわて国体・いわて大会」の成功を願い、内陸南部の3コースでPR駅伝が行われました。本市の参加区間は、花巻市や北上市を巡る10区間68\*のコース。参加した

40人は、タスキをつなぎ、国体のPRに貢献しました。箱石久さん=遠野町=は「国体では遠野の魅力を伝えていきたい」と汗をぬぐいました。



いわて国体歓迎旗とともに走るランナー

6月28日 第40回東北馬力大会馬の里遠野大会

## 人馬一体の力走が今年も！

第40回東北馬力大会馬の里遠野大会(同実行委員会主催)が宮守町の柏木平優遊広場特設会場で開催されました。訪れた4,500人は、人馬一体となって繰り広げられる熱い競走を堪能しました。レースは、300\*から975\*の重りを載せたそりを引き、2つの障害を越えタイムを競うもので、新馬から一流馬までの38頭が出場。馬が勢いよく障害を越えると、観客席からは拍手と歓声が沸き、なかなか前に進めない馬には熱い声援が送られていました。石川哲郎さん(19)=神奈川県=は「迫力があるレースに鳥肌が立ちました。来年もぜひ訪れてみたいです」と満足した様子でした。



1\_大きな掛け声とともに、高さ2.5mの障害を駆け上がる人馬 2\_もう少しで障害を突破！ 会場の熱気は最高潮に 3\_ 40回大会を記念して第1回大会のレースの様子を再現した復刻レースや演歌歌手の大沢桃子さん(大船渡出身)による歌謡ステージ

6月27日 第1回遠野市史編さん委員会

## 遠野の歴史をひもとき未来へ

遠野に関する歴史や文化などをまとめる「遠野市史」の編さん事業が本年度からスタートし、同委員会が組織されました。委員長には、遠野文化研究センター運営委員会副委員長の大橋進さん(72歳)=大工町=を選任。同委員会を中心に平成39年度までに、現代編、資料編、通史編、民俗編を編さんする予定です。



市史編さんへ抱負を述べる大橋委員長(中央)

7月4日 若者向け「伝えるコツ」生涯学習講座

## お笑い芸人が楽しく授業

お笑い芸人のアンダーエイジによるコミュニケーション教室が遠野みらい創りカレッジで開かれ、市内の若者ら50人が参加しました。アンダーエイジの2人は、芸人養成所



若者に授業するアンダーエイジの2人

時代の爆笑エピソードを交えながら、「伝えるコツ」を伝授しました。また、授業後はジンギスカンを囲み、若者同士の交流を深めました。

7月4日 市緑化祭「里山フェスタ2014」

## 環境保全の大切さを体感

今年は、綾織町にある国の重要文化財「千葉家住宅」の裏山で行われ、地域住民や市内の森林愛護少年団の団員ら258人が参加しました。

同所は、同住宅の保存・活用に伴い、美しい里山の景観を再構築する計画が進められています。今回はその一環として行われ、参加者は森林の生育環境を整える間伐作業などに汗を流しました。市馬搬振興会の岩間敬さん(松崎町)と伊勢崎克彦さん(宮守町鱒沢)は、馬による木の搬出作業を披露し、環境に優しい森林の手入れ方法について説明。また、参加者は記念標柱を設置し、森林を大切に次の世代に残していくことを誓いました。



1\_ 間伐作業に汗を流す参加者 2\_ 馬搬の実演も行われました 3\_ 来年度から大規模改修が行われる千葉家住宅の前で記念撮影



平成27年度 遠野市緑化祭 里山フェスタ2015 平成27年7月4日(土) 千葉家(宮守町)